

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆7～9月実質GDP予測、年率1.82%減 日経センター11月調査

・日本経済研究センターがまとめた民間エコノミストの経済見通し「ESPフォーキャスト調査」によると、7～9月期の実質GDPの予測平均は前期比年率で1.82%減。米国の関税政策の影響で輸出が減るとみて、前回調査(1.35%減)から下方修正。輸出の予測平均は前期比1.68%減だった。個人消費は0.09%増、設備投資は0.07%増と見込む。

◆日銀総裁、物価の基調は「2%に向け緩やかに上昇」

・日銀の植田和男総裁は参院予算委員会で、現在の物価動向について「一時的な要因を除いた基調的な物価上昇率は2%に向けて緩やかに上昇している」と答弁した。食品に限らず、その他の財・サービスで賃金の上昇を価格に転嫁する動きが続いているとの認識を示した。

◆かかりつけ医「未対応なら報酬減」 財務省、登録制にらみ改革提起

・患者の幅広い不調を最初に診る「かかりつけ医」への診療報酬が2026年度改定の争点に浮上してきた。財務省はかかりつけ医の機能が不十分な診療所は報酬を減らすよう唱え、日本医師会は患者の選択を阻むと反発する。インフレ下で経営に苦しむ医療機関を支える原資を確保するためにも、メリハリの利いた改革が欠かせない。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆木造住宅の10月建築費指数は「横ばい」 ケーブル類が値上がり

・建設物価調査会が公表した2025年10月分の「建設物価建築費指数」によると、木造住宅の工事原価指数(暫定値)は144.0となり、前月比では横ばい、前年同月比では3.3%増加。東京都内では、銅の世界的相場の上昇に伴って、電線・ケーブル類の製品価格が上伸し、指数を押し上げる要因となった。マイナスに寄与する要因はなかった。

◆タカスタンダード、山梨のこども食堂にシステムキッチン提供

・タカスタンダードは、リビングアムニティ協会が実施している「こども応援プロジェクト」を通じ、山梨県甲府市の「ひかり子ども食堂」のキッチンリフォームを支援。ひかり子ども食堂のキッチンは40年以上前に設置されたもので、老朽化に加え作業効率も悪かった。リフォームに際し、システムキッチンと背面収納を提供。

◆山善、マレーシアの機械商社を傘下に 日本M&Aセンター系から取得

・機械商社の山善はファナックなど日系メーカーの機械を取り扱うマレーシアの商社、CKマックグローバルを買収すると発表。同社の実質的な親会社の全株式を取得し傘下に収める。CKマックの2024年8月期の売上高は28億円。山善は27年度に海外売上高を1200億円と、24年度実績の857億円から40%増やす目標を掲げている。

《 注目商品 》

■三協立山・三協アルミ社、宅配ボックス付きのスリムな機能ポール

・宅配ボックス機能をプラスし、フラット基調でノイズレスなデザインへモデルチェンジした機能ポール。スリムデザインでありながら、80サイズまでの宅配物に対応可能。照明内蔵タイプは、スリット照明で機能ポールの位置を示し、夜間の視認性向上と操作補助を実現。



■「AiSEG3」をバージョンアップ、専用アプリの操作性も向上

・パナソニック エレクトリックワークス社は、ホームエネルギーマネジメントシステムの中核機器「AiSEG3」を2026年1月21日にバージョンアップ。あわせてAiSEG3をスマートフォンで操作できる新しい専用アプリ「AiSEGアプリ」の配信も始める。



■パナソニック アラウーノにオート開閉標準搭載で25.9万円

・全自動おそうじトイレ「アラウーノ S160 タイプ1K」は、便ふたの「オート開閉機能」を標準搭載。一般的なオート開閉機能付きのタンクレストイレよりオート開閉なしと同価格の25万9000円で設定。従来のタンクレストイレよりも約10万円安い設定。

